

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成20年2月7日(2008.2.7)

【公開番号】特開2002-225192(P2002-225192A)

【公開日】平成14年8月14日(2002.8.14)

【出願番号】特願2001-20143(P2001-20143)

【国際特許分類】

B 3 2 B	27/06	(2006.01)
B 3 2 B	7/02	(2006.01)
A 6 1 L	2/04	(2006.01)
A 6 1 L	2/06	(2006.01)
A 6 1 L	2/10	(2006.01)

【F I】

B 3 2 B	27/06	
B 3 2 B	7/02	1 0 3
A 6 1 L	2/04	A
A 6 1 L	2/06	A
A 6 1 L	2/10	

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月18日(2007.12.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

この紫外線による殺菌作用は、基本的には紫外線が細胞の核酸(DNA)に吸収され、これにより化学変化を起こし、遺伝子に損傷を与えて修復機能を失わせる、というのが定説である。また、紫外線による反応作用は、有機物に紫外線が吸収されると結合の解離を伴う光化学反応が起こり、有機物を分解するというものである。そのため、紫外線処理には紫外線の安全性が問題となる。